

## 第62技能五輪全国大会「プラスチック金型」職種の総評

R6 11.15~11.20, 日立 Astemo 佐和グローバル教育センタ 工場棟 1F・2F

競技主査 新家寿健

### 1. 参加者等

参加者 31名(31), 金型受取 31(27), プラスチック製品提出 31(24), 連続生産 11個以上 28(19), 組立状態減点無し 25(16), 事業所数 14 ( )は昨年度

### 2. 競技時間等

課題公表;大会の2カ月前

競技1(金型設計);金型設計・加工計画;1時間45分

競技2(金型製作)機械加工;3時間15分, 仕上加工;3時間15分

競技3(射出成形)製品成形;0時間40分(金型段取りを含む)

### 3. 成績結果の概要

参加選手 31 (31) 名中 13 名が入賞し, 平均点は 95.2 (91.3) 点であった. 図1に入賞者, 75点以上の順位と得点の関係を示す. 1位の選手の得点は 99.4 (98.8) 点, 2位の選手は 99.3 (98.2) 点となった. 3,4位の選手は 99.1 (96.0) 点, 97.9 (95.1) 点である. 得点差が2点程度となった. 5位から7位までの銅メダルは94点以上を獲得している. 以降15位の選手まで90点台の得点を獲得している. 全選手の平均得点は 87.2 (77.4) 点である.

競技1は17点を獲得した選手が16名おり, 選手間の得点差は減少した. 競技2は36点獲得者がいなかったが高得点者が増加した. 競技3の製品外観で高得点を獲得した選手が上位となった.

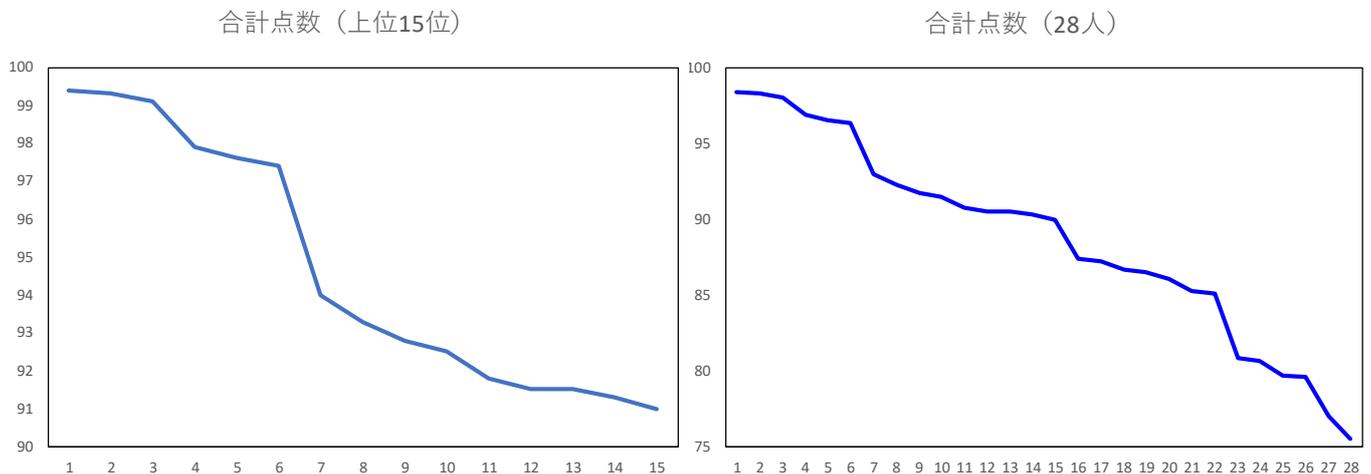


図1 順位と得点の関係

### 4. 課題のレベルと作品の出来栄

金型受取検査は全選手が合格した. 各企業がノウハウを蓄積したことで安定した結果が得られるようになった. プラスチック製品提出者は31名, 15個連続生産品提出者は28名, 製品の組立状態で減点なし選手は25(16)名となった. 製品寸法は上位選手の多数が満点を獲得した. 製品の外観検査は昨年から外観評価基準を設けたことで選手の磨きの技量が数値として明確に反映された結果となった.

## 5. 表彰に関すること

金賞 1 名（トヨタ自動車（株） 久保 日暖選手），銀賞 3 名，銅賞 3 名，敢闘賞 6 名で，連続生産ができた 28（19）名中，プラスチック成形品外観採点で加点が多かった 13 名が入賞した。

## 6. 競技の運営，設備に関すること

競技会場の広さ，レイアウトは問題の無い環境であった。会場を提供し電源設備など細やかに対応していただいた日立 Astemo 様に感謝申し上げます。

次年度以降の大会において，競技エリアの広さは開催県によっては同様のエリアが確保できないことも考慮して競技運営の工夫をしていく必要がある。

### ※トラブル等

印刷時にプリンタにエラーが発生し 3 台体制での実施に支障がでた。次年度はプリンタの更新をお願いしたい。

## 第 63 回技能五輪全国大会実施（案）

競技会場 未定  
スケジュール

10 月 10 日（金）フライス精度検査、金型設計  
10 月 11 日（土）～12 日（日）機械加工  
10 月 13 日（月）機械加工予備、成形練習、仕上競技  
10 月 14 日（火）競技無し（金型採点）  
10 月 15 日（水）成形競技  
10 月 16 日（木）搬出、採点・集計

メイン会場：愛知県国際展示場他

日程：10 月 17 日（金）開会式、10 月 20 日（月）閉会式

以 上